## 2021年度 学校関係者評価 報告書

### 学校関係者評価委員会

日時: 2021 年 11 月 30 日 (火) 10 時 45 分~11 時 45 分

場所:日本体育大学医療専門学校 会議室

### 学校関係者

富田 美穂子 委員 松本歯科大学教授 医学博士

難波 英樹 委員 難波接骨院院長 同窓会長

蓮沼 鉄也 委員 はすぬま整骨院院長

甘利 雅雄 委員 非常勤講師

湯山 徳行 委員 歯学博士

廣川 晃司 委員 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 特任教授

### 学校

鈴木 幸江 校長

吉田 裕輝 整復健康学科長

廣川 香 口腔健康学科長

事務(書記)小林 絵里

学校側から現状や取り組み等について報告があり、学校関係者より意見や要望があった。

## 1. 報告

全体	2023年度で創立50周年を迎える。50周年記念として記念誌の発行
	を検討している。
	教職員数、在学生数推移、学生募集状況、広報活動状況
整復健康学科	・ 前期は、解剖学・生理学を中心に対策。学生 5~6 名に教員 1
	名を割り当て、2 週間おきに口頭質問 を実施し習熟度を確認。
	・ 後期は、予定していた学外勉強合宿は新型コロナウイルスの関
	係で学内にて実施。認定実技審査対 策や、前期に引き続き個別
	対応を実施。学生の成績に応じて特講を実施するなどをしてい
	る。
	・ 新型コロナウイルスについて、換気対策、ディスカッション回
	避、マスクの徹底、昼食時の 管理、緊急事態宣言等の再発出に
	備え、時期を前倒して実技を行う等の対応をしてきた。
口腔健康学科	・募集は好調で定員数を確保できそう。
	・ 国家試験対策として、外部模試だけでなく補講も実施したこと

	や、模擬試験の回数を増加させた。
	・ 学内の新型コロナウイルス対策は、基本的には整復健康学科と
	同じである。学外で行う臨床実習は 予定通り実施できた。一方、
	老人ホーム等で行う臨地実習については、状況を鑑みて中止と
	なった。代替実習は学内にて実施済。
事務	支出超過が継続している。募集対策や経費節減を続けつつ、退学者を
	抑制できるよう取り組む。

# 2. 意見・要望など

	<del>-</del>
コロナ対策	感染者はいるものの、クラスターとなっていないため、学校の対応
	に感謝する。
	引き続き、感染対策を徹底し、できるだけ対面による授業を展開し
	てもらいたい。
教育	学生が自習できるスペースの確保が必要である。また、教科書や参
	考書を常設し、学生の自習意欲の向上に期待したい。その他に、学
	習意欲向上の取り組みとして、次のことをお願いしたい。
	・ 学力差のある学生同士(3名1組推奨)で学習を行う。
	・ 遅刻、忘れ物、居眠り等、学習以前に守るべきルールの周知徹
	底。
	・ 3年間をとおしたカリキュラムの再検討(学習の順番など)。
退学者	退学の原因として、次の要因があげられる。
	・ コロナ禍において、授業形態や学習習慣の変化に順応できなか
	った。
	・ 国家試験合格を前提にした学習への意識がないまま入学してし
	まった。
	・ 入学後、将来の目標が異なることに気が付いた。
	このことを踏まえ、退学者の低減の対策として提案する。
	・ 進路について選択肢を広げるイメージをもたせる。
	・ 臨床に多く接し、資格に対する興味をもたせる。
	・ 学生とコミュニケーションの機会を増やし、学力によりドロッ
	プアウトを出さないようフォローを実施する。
国家試験対策	・ 国家試験の合格率向上のためには、入学後の教育の前に入試段
	階での厳選も重要になってくる。医療人になるという意識が低
	いまま入学している学生もみられるため、意識の改善と、基礎
	学力・勉強意欲の向上を図りたい。
	・ 今後の国家試験対策として、合宿や個別フォロー等の補講実施

	の強化を提案する。また国家試験対策内容もさらに充実したい。
	・ 国家試験不合格者に対しては、聴講生を継続していくとともに、
	試験対策問題を配布する等のフォローをしていきたい。
その他	学生募集の対策として、優秀な学生を多く輩出していることや、高
	い技術が身につくなど、学校の特徴を明確に伝えていくことが必要
	ではないか。